

三重県人権センター 図書室 新着情報

2024年
第2号

三重県人権センター図書室に

新しく入った本の一部を紹介します！

人権について考えるきっかけづくりにしてみてください。

図書室では、人権に関する映像資料やパネルの

貸し出しも行っています。

研修や学習にぜひご活用ください！



三重県人権センター マスコットキャラクター「ミッコロ」

三重県人権センター図書室

Tel. 059-233-5537

開室時間 9:00～17:00

休室日 月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日



『女たちのシベリア抑留』

出版:文藝春秋

著:小柳ちひろ

女性が戦争に巻き込まれる
ということは、こういうことだ。
長い沈黙を破り、
女たちは語り始めた——。
NHK BSスペシャルの話題作が
ついに文庫化。
数々の新聞や雑誌の書評で
取り上げられた、「戦争と女性」に迫る
傑作ノンフィクション。



『〈寝た子〉なんているの？』

一見づらい部落差別と私の日常』

出版社: 里山社

著:上川 多実

「差別はもうない。〈寝た子〉を起こすな」
と言われがちな部落問題。東京生まれの
部落ルーツ、シングルマザーの著者は
子どもやママ友に〈部落〉をどう伝える!?
日常から差別を伝えていく！まったく
新しい部落ルーツエッセイ



『前科者1～14巻』

出版:小学館

著:香川まさひと、月島冬三

保護司制度の存続が危ぶまれている今、
保護司に求められている姿とは何であろうか？

漫画



『聲の形全1～7巻』

出版:講談社 著:大今良時

耳の聞こえる少年・石田将也。

耳の聞こえない転校生・西宮硝子。

5年後、将也は人生の最後に、西宮硝子に会わ
なければいけないと決意する。

『ゴールデンカムイ
絵から学ぶアイヌ文化』

出版社: 集英社新書

著:中川裕

カバーイラスト: 野田サトル

コミックス累計2500万部を突破
大ヒット漫画「ゴールデンカムイ」。
同作をきっかけにして、アイヌ文化に
興味を抱いたという方も多はずだ。
本書はそんな大人気作品のアイヌ語
監修者が、完結までの物語の全体を
振り返りながら、アイヌ文化の解説
を行った一冊である。



累計14万部突破のシリーズ

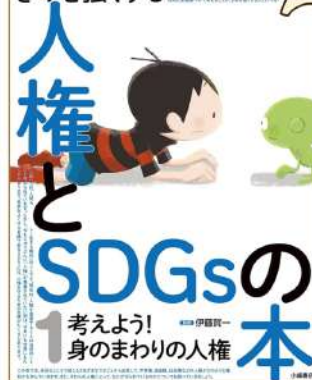
『きみを強くする
人権とSDGsの本』【全3巻】

出版:小峰書店

著:伊藤賀一

- (1) 考えよう！身のまわりの人権
- (2) 調べよう！人権の歴史
- (3) つくろう！SDGsが拓く未来

きみを強くする



『ちっちゃなサリーはみていたよ』

『ちっちゃなサリーはみていたよ』

ひとりでも ゆうきをだせたなら』

出版:岩崎書店 著:ジャスティン・ロバーツ

絵:クリスチャン・ロビンソン 訳:中井はるの

一年生で一番小さい女の子、サリー。友達のいじめや
捨てられた物などを見て心を痛めますが、周りは無関心。
本当にそれでいいの？ある日、サリーは立ち上がります。

絵本

『だいたい、だいたい、どこだ？』

出版:大泉書店

著:遠見才希子、川原瑞丸

からだの大切さだけではなく、一人ひとりが
大切な存在ということを伝えるのはじめての
『からだ』と『性』のえほんです。

